

社会貢献

秋田大学は、平成16年度の国立大学法人化を契機に、教育・研究・社会貢献を大学運営の重点事項として掲げ、公共的な知の拠点として大学開放事業を推進しています。

本学の社会貢献活動の根底には、学生のみならず生涯学習も教育の一環であり、社会の人々にも積極的に教育資源を提供していこうという思いが込められています。そのコンセプトを基に、様々な活動を展開しています。また、高校生やその保護者あるいは小・中学生を対象とした企画も実施しています。

秋田大学の社会貢献事業

■公開講座

生涯学習の一環として、市民・県民の皆様どなたにも本学の良質な教育資源を提供するために、毎年多種多様なテーマで公開講座を開講しています。



※平成27年度開講の講座は本学公式ホームページをご覧ください。

■サテライト事業

秋田県内自治体や首都圏において、本学教員による講演会、子ども向け科学教室等を開催しています。本学と秋田県立大学、国際教養大学、秋田公立美術大学の4大学による連携事業も行っています。



■子ども見学デー

毎年夏休みに、小学生とその保護者の方を対象に「子ども見学デー」を実施しています。大学内の見学や研究室



での実験、天体望遠鏡での観察など、様々な体験を通じて、大学に対する関心を高めてもらうことが目的です。

■小・中学生等の大学見学受け入れ

総合学習や職場体験学習の一環としての小・中学生の大学見学や、PTA研修等を随時受け入れていきます。職員が学内を案内したり質問に答えたりしながら、本学を紹介します。また、要望があれば研究室を訪問し教員や学生へインタビューすることも可能です。



■自治体との連携

本学が持つ教育・研究資源の提供と、地域活性化の促進を目的に、秋田県内自治体と連携協定を締結しています。「地域に根ざした大学」を目指し、講演会の開催や学生の地域交流等による社会貢献を行っています。



平成27年5月1日現在、秋田県を含む15の自治体と連携協定を締結しています。

■メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト

秋田大学社会貢献事業の全学的な取り組みの一環として、大学の持つ学術的知見を分かりやすく市民へ提供すること、



また、学部間連携により各学部から講師を招き、学長・医学系研究科長がサイエンスカフェ・マスターとなり、幅広い視点から医学・健康に関する話題を提供しています。高校生から年配者まで多くの住民が対象で、気軽に参加していただけるように会場には毎回飲み物等を用意し、くつろいだ雰囲気の中で進行しています。

地域防災

1. 秋田県の特性を考慮した地域防災のあり方に関する調査・研究

①秋田県内の地震・防災について基礎的研究を行います。



②秋田県沿岸部で過去に発生した津波の影響範囲や履歴を調査し、津波被害の軽減について研究します。

③秋田県内に将来甚大な被害をもたらす可能性がある地震・津波について調査・研究します。

2. 防災について地域で活動できる人材の育成

①地震災害が発生した場合に、地域住民自らが減災活動を行えるように、自治体・町内会等で防災教育を実施します。



②県内の幼保小中高等学校で防災教育を実施します。

3. 県および市町村への防災施策に関する指導・助言

①秋田県の地震被害の想定並びに地震防災対策を推進するために必要な指導・助言を行います。

②県内自治体が考える防災・減災対策について、地域の特性を考慮しながら指導・助言を行います。

地域との架け橋へ

地域創生センターは「地域再生のための知の創生の見地から、地域と連携し、地域の活性化、教育活動、住民活動への助言や地域の防災等に関する研究と支援等を行い、地域の発展及び安全・安心な地域社会の形成に寄与する」ことを目的に平成23年4月1日に設立しました。秋田大学が実施する「地域との連携・地域への貢献」活動について「地域協働部門」の活動を明確にすることで、地域の持続可能な発展について寄与していきます。また、平成23年9月1日には

「地域防災部門」を開設し、地震災害について調査・研究し、地域の防災対策に取り組んでいます。さらに、横手分校、北秋田分校に、男鹿なまはげ分校が加わったことにより、県北・中央・県南と秋田県全域を対象として、教育・知的資源の還元を展開しており、「地(知)の拠点整備事業(COC(Center of Community)事業)(平成25年度取組開始)」とリンクしながら、地域が抱える問題を秋田大学の課題ととらえ、地域の方々と心を合わせて課題解決に取り組んでいます。

